

◆ 緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HPは
こちら

1学年「一次産業体験」

アントレプレナー
× キャリア教育

職業観や生き方の見識を深める

11月4日(火)、5日(水)に総合的な学習の一環として、1年生が「一次産業体験」に出かけました。学年テーマを「郷土を知る」として、酪農体験と畑わさび体験と林業体験を行いました。指導者については、昨年に引き続き、山屋祐太さん(山屋牧場の酪農家)と刈屋翔磨さん(畑わさびの栽培家)、今年度より差畑正樹さん(差畑林業の代表取締役社長)が快く引き受けてくださり、生徒



たちはグループに分かれ、午前と午後に入替を行い、全員が3つの体験で学ぶことができました。

また、11月10日(月)には、体験でお世話になった3名の起業家の方々による「トークセッション」を行い、仕事に対する考え方、生きていくうえで大切にしていること、1次産業の魅力・岩泉で働くことの良さなどのテーマでお話いただきました。

地域の産業を知り、そこで生きる人々との触れ合いを通して、自己の生き方について深く考える機会となりました。

〈生徒の振り返り〉

- それぞれ3名は、仕事に対して前向きにそして簡単にやっているけれど、実際に体験してみると難しかったです。においのきつさやヒドイ汚れ、繰り返しの作業で集中力が必要な事、危険を伴う作業などそれぞれに苦労を感じました。そんな中、毎日やっていることはすごいことだと改めて思いました。作業に集中する、自分で考えて行動する、みなさんの生活を守るために働くなど、それぞれに工夫や努力がある中で日々過ごしていることが強く印象に残りました。
- この一次産業体験を活かして、これからはボランティアや台湾派遣など地域の活動に積極的に参加していきたいです。そしていろいろ吸収し、たくさんを経験し、自分がやりたい仕事を見つけたいです。そのために、この2日間で教えてもらったことを忘れず、たくさん勉強して、感謝の心を大切に過ごしていきたいです。
- 今回の産業体験で学んだことを忘れずに、自分の将来に役立てたいと思った。これからは、自分からあいさつを進んでやったり、返事などをしっかりやったり、色々なことにチャレンジして、たくさん失敗などをして、次にどうつなげていくかを考えて行動したいと思った。今、学校に普通に通えていることや働いてくれている人たちへの感謝の気持ちを忘れずにたくさんいろいろなことにチャレンジしていこうと思いました。

岩中生の活躍

○第24回りんり俳句大賞 夏・秋の部
入賞句「同じ月見上げて笑う二人かな」
中学生の部 銀賞 狩野 龍剛さん

○第71回青少年読書感想文全国コンクール下北地区審査
優良賞 坂下 将汰さん、竹花 彩来さん
入選 佐藤 晴さん、三上 さやさん、三上 愛莉さん

○第24回岩手県中学校総合文化祭 展示部門 【出品者】

美術	作品名「超龍」	石垣 乃々さん
	作品名「月光」	佐藤 晴さん
技術	作品名「横長ラック」	大川 楓乃さん、竹花 絆来さん
	作品名「プランターBOX」	差畑 妃里さん
書道	作品名「思考」	三上 星那さん
	作品名「創造」	工藤 マシューさん
	作品名「科学の進歩」	阿部 まゆさん

【11月27日～30日 岩手県民会館（第1・2展示室）】

岩手県新人大会 バレーボール競技 大健闘！



11月15日（土）・16日（日）、岩手県中学校新人大会が開催され、本校からは、バレーボール部が宮古地区代表として出場しました。

結果は、1回戦 0-2 【対 不知火（岩手地区）】と初戦敗退となりました。報告会では、「今までで1番のプレーをすることができたこと」や「接戦を勝ち取る粘り強いプレーと個人の技術向上に取り組むこと」など、チームの成長と次の大会へ向けての決意が述べられました。

授業参観・家庭教育学級・高校入試説明会 ありがとうございました。

11月13日（木）、授業参観とPTA 家庭教育学級、高校入試説明会を行いました。

今年度の家庭教育学級では、「スマホ等のマスメディアの健康への影響」と題して、柴野良博先生よりご講演いただきました。講演では、スマホ等のメディアの「適切な使い方と工夫」と「心身を守る習慣づくり」を子どもも大人も一緒に考えるよい機会となりました。本当にありがとうございました。

